

安全・安心まちづくりアドバイザー派遣事業

～上三之町町内会～

平成29年7月5日（水）、高山身体障害者会館で上三之町町内会役員の方々が集まり、防犯カメラの適正な設置及び運用について安全・安心まちづくりアドバイザーの幾田弘文さんが講義をされました。

上三之町は、「古い町並」で知られる国選定重要伝統的建造物群保存地区のため、観光客が多く訪れます。防犯対策の一環として防犯カメラの設置を検討したいが、景観を損なわないよう効果的な設置等について悩まれ、アドバイザー派遣を申請されました。

アドバイザーの幾田さんは、実際に防犯カメラやモニターを提示し、高山は外国人観光客が多いが防犯カメラに対するアレルギーはなく、また、古い町並の景観に馴染むデザインの物もあることや、経費等についても丁寧にお話しいただきました。

県からは、取扱い規程の作成など、プライバシーに配慮した適正な運用が大切であることを説明しました。

町内会長の渡辺さんは、「防犯カメラに対する知識がなく、検討しているものの、どのように設置等すればよいか分からなかったが、実物を見て話を聴くことができ、大変活発な意見交換も行うことができた。」と感想を述べられました。



防犯ボランティア活動で悩んでいることがありましたら

ぜひアドバイザー派遣事業をご活用ください！